

13 地球市民学科（2021(令和3)年度以後入学者）

地球市民学科専門科目の履修

地球市民学科生は、表 13-1 にしたがって、地球市民学科専門科目の必修科目を 48 単位、表 13-2 に従って、選択必修科目を 18 単位以上、合計で 66 単位以上修得しなければならない。

自学科専門科目の単位を 67 単位以上修得した場合、66 単位を超えた分は「選択科目」（自由選択科目）（73 ページ）として卒業に必要な単位に数えることができる。

必修科目の履修上の注意

1. 1 年次必修科目の「基礎概念 1, 2」は 3 クラス、「English for Global Citizens 1, 2」は 4 クラスに分けて授業が行われる。クラス分けは、ガイダンス期間中に配付する資料により発表する。
2. 2 年次前期必修科目の「English for Global Citizens 3」は 4 クラス、「データサイエンス入門」、「データサイエンス応用」は 3 クラスに分けて行われる。クラス分けはガイダンス期間中に配付する資料により発表する。
3. 2 年次後期は、英語科目「Global Citizen and…」のいずれかを履修しなければいけない。
4. 3 年次必修科目の「研究プロジェクト 1, 2」と 4 年次必修科目の「研究プロジェクト 3」、「シニアチュートリアル」は、「卒業論文」と「卒業プレゼンテーション」に向けて研究指導を行なう科目である。
5. 「研究プロジェクト 1, 2, 3」「シニアチュートリアル」は、原則として「研究プロジェクト 1, 2」を 3 年次に、「研究プロジェクト 3」、「シニアチュートリアル」を 4 年次に履修すること。なお、これらの科目を再履修する場合は、各学期にいずれか 1 つの科目しか履修できない。したがってこれらのいずれかの単位を修得できなかった者は、自動的に 4 年間では卒業が不可になるので注意すること。詳細は担当教員に相談すること。
6. 「研究プロジェクト 1, 2, 3」「シニアチュートリアル」いずれかの科目を、該当年次に修得できなかった場合は、それらの科目を再履修する最終年度に、「卒業論文」「卒業プレゼンテーション」を履修すること。
7. 「研究プロジェクト 1, 2, 3」「シニアチュートリアル」を履修せずに「卒業論文」及び「卒業プレゼンテーション」を履修することはできない。詳細は担当教員に相談すること。

表 13-1 地球市民学科専門科目表
2021(令和3)年度以後入学者

区分	分野	年次	科目名	単位数	
必修	基礎科目	1	チュートリアル	2	
			基礎概念 1	4	
			基礎概念 2	4	
			個人プロジェクト 1	2	
			個人プロジェクト 2	2	
			English for Global Citizens 1	2	
		2	English for Global Citizens 2	2	
			グループプロジェクト 1	2	
			グループプロジェクト 2	2	
			English for Global Citizens 3	2	
			国際協力のための英語	4	
			データサイエンス入門	2	
		3	データサイエンス応用	2	
			研究プロジェクト 1	2	
			研究プロジェクト 2	2	
			プロジェクト・プレゼンテーション	2	
		総括科目	4	プレゼンテーション技法	2
				研究プロジェクト 3	2
				シニアチュートリアル	2
卒業論文	2				
			卒業プレゼンテーション	2	
必修科目単位数合計				48	
選択必修			表 13-2 の 選択必修科目欄を参照	18	
選択必修科目で修得すべき単位数合計				18 以上	
修得すべき単位数合計				66 以上	

表 13-2 地球市民学科専門選択科目表
2021(令和3)年度以後入学者

区分	年次	科目	単位	区分	年次	科目	単位		
選択	1~4	地球市民セミナー1	1	選択	グローバル社会系英語科目	Global Citizen and Politics	2		
		地球市民セミナー2	1			Global Citizen and Culture	2		
	グローバル社会系科目	1~4	地域研究 1			2	Global Citizen and Society	2	
			地域研究 2			2	Global Citizen and Peace	2	
			地域研究 3			2	Global Citizen and Human Resource	2	
			地域研究 4			2	Global Citizen and Environment	2	
			地域研究 5			2	Global Citizen and Technology	2	
			地域研究 6			2	Global Citizen and Religion	2	
			地域研究 7			2	Global Citizen and Media	2	
			地域研究 8			2	Global Citizen and Business	2	
			グローバル・スタディーズ 1			2	Global Citizen and Development	2	
			グローバル・スタディーズ 2			2	Global Citizen and Law	2	
	グローバル・スタディーズ 3	2	Global Citizen and Justice			2			
	グローバル・スタディーズ 4	2	Global Citizen and Constructive Controversy			2			
	グローバル社会系科目	1~4	グローバル・スタディーズ 5		2	グローバル社会系・専門事例科目	2~4	専門事例：地球市民と政治	4
			グローバル・スタディーズ 6		2			専門事例：地球市民と文化	4
			東洋史概説 a, b		各2			専門事例：地球市民と社会	4
			日本史概説 a, b		各2			専門事例：地球市民と平和	4
			西洋史概説 a, b		各2			専門事例：地球市民と人的資源	4
			映像表現法		2			専門事例：地球市民と環境	4
	コンセプト・スキル系科目	1~4	アート・デザイン論		2			専門事例：地球市民と技術	4
			ワークショップ・デザイン論		2			専門事例：地球市民と宗教	4
			リーダーシップ・組織論		2			専門事例：地球市民とメディア	4
			ユニバーサル・コミュニケーション論		2			専門事例：地球市民と企業	4
			ユニバーサル・コミュニケーション演習		2			専門事例：地球市民と開発	4
			コーチング論		2			専門事例：地球市民と法	4
			コーチング演習		2			専門事例：地球市民と正義	4
	1~4	2~4	2		2 必修注1			1~4	2
外国語特別演習				2					
1~4	2~4	2	2 必修注2	1~4	2	国際協力のための外国語	4		
						フィールドワーク 1	2		
2~4	2~4	4	6	2~4	4	フィールドワーク 2	4		
						フィールドワーク 3	4		
						フィールドワーク 4	6		
						フィールドワーク 5	4		
						GCS インターンシップ	2		

注1 東洋史概説 a, b、日本史概説 a, b、西洋史概説 a, b は文化史学科専門科目だが、地球市民学科の教職課程履修者で「社会」「地理歴史」免許取得希望者は、上記科目を自学科専門科目として数えることができる

注2 4単位のうち2単位は2年次後期に履修

選択必修科目合計：18 単位
選択必修単位数を超える単位は、自学科の選択科目として数えることができる。

必修科目の再履修について

1年次、2年次の必修科目に未修得のものがある場合、他の科目に優先してそれらの科目を修得すること。未修得の必修科目を履修する場合、グループアドバイザーの許可を得た後に履修登録すること。

選択科目の履修上の注意

1. 「地球市民セミナー1,2」より2単位修得すること。
2. グローバル社会系・専門事例科目「地球市民と・・・」より8単位修得すること。
3. グローバル社会系・英語科目「Global Citizen and・・・」より4単位修得すること。うち2単位は2年次後期に履修する。
4. その他のグローバル社会系選択科目より、2単位を修得すること。
5. コンセプト・スキル系選択科目より2単位修得すること。
6. 「諸言語特別演習1,2,3」は、東京外国語大学との単位互換制度や、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所が実施する語学研修、またはそれに匹敵する本学外の語学研修に参加して修了証を授与された者に所定の単位を与えるものである。詳細はシラバスを参照すること。
 - ①成績通知は原則、通年科目と同じ時期である。4年次生は後期は履修することはできるが、卒業要件とはみなさない。
 - ②2022(令和4)年度に行われる語学研修に参加し、修了証を取得した場合のみ、本年度の単位とすることができる。成績通知書は原則2023(令和5)年1月20日(金)17時までに学務課へ提出すること。
 - ③東京外国語大学との単位互換制度を利用する場合や、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所が実施する語学研修を受講する場合、手続き方法等の詳細は、掲示の指示に従うこと。「外国語特別演習」は以下の各言語の検定試験や能力試験において所定の等級やレベルに合格した場合、2単位が与えられる。これ以外の言語の試験については、担当教員に相談すること。
 - ・英語 TOEIC L&R (公開テストに限る。TOEIC IPは対象外)で750点以上、TOEFL-ITPで550(iBT79)点以上 (TOEFL ITPは本学が実施する対面試験に限る)を取得した者、および実用英語検定1級・準1級、英検S-CBT準1級に合格した者
 - ・韓国語の能力試験4級以上
 - ・中国語能力試験「HSK」(中国政府公認)4級以上かそれに相当する試験の同等級以上
 - ・インドネシア語技能検定試験B級以上
 - ・実用タイ語検定試験2級以上
 - ・Common European Framework of Reference for Languages (ヨーロッパ言語共通参照枠)
 - フランス語 仏検2級/DELF:B1以上
 - ドイツ語 Test Daf:level 3(B2)以上
 - イタリア語 Plida イタリア語検定B1以上
 - その他のヨーロッパ言語 B1以上
 - ①4月に登録すること。後期の追加登録はできない。ただし、4年生に限り後期追加登録を認めることとする。成績通知は通年科目と同じ時期である。
 - ②本学在学中で2021(令和3)年度または2022(令和4)年度に実施される試験に合格した場合に、本年度の単位が与えられる。成績通知書は2023(令和5)年1月20日(金)17時までに学務課へ提出すること。
 - ③「外国語特別演習」を再度履修し、単位の修得を希望する場合には、試験の種類を変えて受験し合格するか、もしくは、同一の試験であっても、修得済みの等級・レベルよりも上級・上のレベルの試験に合格した場合には単位を修得することができる。

卒業論文・卒業プレゼンテーション

1. 「卒業論文」と「卒業プレゼンテーション」の要領は、学科の規定に従うこと。
2. 「卒業論文」の提出は12月授業最終日、その後の口頭試問は12月末ごろ、「卒業プレゼンテーション」は1月末ごろに実施する予定である。学科が配布する「卒業論文・卒業プレゼンテーションの手引き」をよく参照のこと。なお、前期卒業を希望する者は、前期中に実施するので、担当教員の指示に従うこと。
3. 「卒業論文」を提出していない学生は、同学期に「卒業プレゼンテーション」を行う資格を持たない。
4. 「卒業プレゼンテーション」当日は、4年次生は全員出席すること。

その他

地球市民学科生は英語・宗教・社会・地理歴史・公民の教員免許を取得することができる。資格取得希望者は、諸資格課程の履修要項（163ページ～）を参照すること。